

バイオブロック療法講演会 in 広島

2019
3/10日
9:00-13:00

なぜ不正咬合になるのか？
他の矯正治療と何が違うのか？

[開催場所/受講料]

TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前
Dr 8,000円・DH,DT 5000円



講師 末竹 和彦

鹿児島大学 歯学部 卒業
バイオブロック・オーソトロピクス
フルレジストレーション取得
アースシステム指導医
長崎バイオブロックセミナー主宰
RAMPA認定医



講師 葉山 康臣

福岡歯科大学 卒業
葉山歯科キッズ
デンタルクリニック院長
日本小児歯科学会専門医取得
福岡歯科大学非常勤講師
長崎バイオブロックセミナー1期



講師 栗原 孝幸

福岡歯科大学 卒業
歯学博士
(医)記念歯科 理事長
日本歯周病学会専門医取得
長崎バイオブロックセミナー4期

バイオブロック療法を説明するときに、まず、そもそも、なぜ不正咬合になるのか、その大元の原因は何かということを考えることが非常に重要になります。

子供の顔面・頭蓋の成長を考えたときにボールが膨張する現象をイメージしてみてください。上顎はおよそ水平方向に、下顎はやや前下方に成長するとボールのようにキレイに大きくなります。様々な不正咬合を訴えて来院される患者さんは、このような形の成長ができていません。例外なく、水平方向(前方)への成長が不足し、代わりに下方への成長量が増えてしまっているのです。特に上顎の下方への成長が主な原因となり、その後の「舌の位置」により、さまざまな不正咬合に変わっていきます。

この下方に降りてしまった上顎骨(本当は顔面・頭蓋全体なのですが)を本来あるべき位置に再配置することなし歯だけを並べてみてもまた歯並びが悪くなる、「後戻り」が、高確率で起きてしまいます。生理的な発育にもっていくこと、つまり顔面・頭蓋の成長を誘導することをフェイシャルオーソトロピクス(Facial Orthotropics)、自然成長誘導法と呼び、それに使用する装置がバイオブロックです。

この治療法を取り入れることで、歯並びはもちろん、咽頭部(気道)を広くする、顔の自然観などを改善できることがわかっています。

今回、不正咬合に対する対症療法ではなく、より「原因療法」に近い治療法といえるバイオブロック治療について、その歴史、および症例を通して概説したいと思います。



お問い合わせ先: 記念歯科 TEL0823-76-6464/FAX 0823-76-6755

〈切取線〉

2019年3月10日 バイオブロック療法講演会 受講申込書

下記内容をご記入の上、0823-76-6755(記念歯科)までFAXにてご送信ください。

医院名	氏名	<input type="checkbox"/> DR <input type="checkbox"/> DH <input type="checkbox"/> DT	備考欄 領収書宛名が医院名と異なる場合は、備考欄にご記入ください。
住所	氏名	<input type="checkbox"/> DR <input type="checkbox"/> DH <input type="checkbox"/> DT	
TEL	FAX	氏名	